

執筆者紹介（掲載順）

田中 励儀（本学教授）

神戸 啓多（本学大学院博士前期課程 在学生）

胡 鴻洋（本学大学院博士後期課程 在学生）

松本 匡由（関西大学第一高等学校・中学校 教諭）

高野 昌彦（セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校 教諭）

教諭

高山 卓（龍谷大学付属平安高等学校・中学校 常勤講師）

城 阪 早 紀（本学人文科学研究所 嘱託研究員）

編集後記

本号は、研究論文として近代文学二本、日本語学一本、国語教育二本、そのほかに資料紹介・索引という多彩な内容となった。執筆者のキャリアは、今年度末で定年を迎える教員から前期課程一年目の院生までと幅広い。国語教育関連の論文は、教育現場において中堅・ベテランとして活躍する卒業生教員によるもので、いずれも国文学会での発表を経ての投稿である。一方で、教育現場に身を置きながら重要な資料を紹介する論考もあり、博士号取得に向けて努力する留学生による日本語学の論文も掲載に至った。巻末に掲載された索引は、若手研究者ならではの、たいへんな労作である。コロナ禍の困難を乗り越え、同志社国文の教育・研究の成果が結実した一冊となったことを喜ばしく思う。